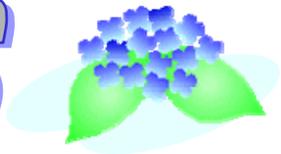


# パートナーシップNEWS



第23号 平成16年12月 発行：パートナーシップ推進課



パートナーシップ最前線！

## 市民と行政のパートナーシップ ～市民が市事業の企画・運営を行いました～

### 市民平和のつどい

11月7日、あじさい会館。市民平和のつどいのメイン事業である「市民平和フォーラム」と映画「ヒバクシャ」の上映会が行われました。

この事業の企画・立案・運営をした「市民平和のつどい」実行委員会は、今年2月に17人の実行委員で設立され、この日のために、アイデアを出し合い、議論をし、準備を進めてきました。

午前の映画上映。実行委員のアイデアから映画と監督鎌仲ひとみさんのトークが生まれ、実行委員がインタビュアーに。アンケートには「映画、監督の説得力ある話し。インタビュアーも良かった」というものが多く見られました。



午後からのフォーラム。環境を切り口に平和を考えるとというテーマも、実行委員会のアイ

デアから生まれました。水口章氏による基調講演と幸田シャミンさんや鎌仲さんも参加しパネルディスカッション。アンケートには「企画内容がとても興味深く、認識を改めるきっかけになった」という声が寄せられました。

平和のつどいの開催方法についての設問に、「市が企画・立案」33人に対して、「実行委員会が企画・立案」は112人にも上り、今回の映画の成功を物語っていました。

＝渉外課＝

### 市制50周年記念事業

市制50周年記念事業には、「市民がつくる記念イベント運営委員会」、「愛唱歌制作委員会」、「記念要覧編集委員会」など、17委員会・約650名の方々が企画・運営に参加しました。

このうち、「市民がつくる記念イベント運営委員会」には、公募により、30～70才代の8



名が応募。昨年4月からほぼ毎月会議を開催し、「まち自慢50

選」、「銀河連邦ふるさと音楽祭」など3事業を実施しました。

当初、事業計画がなかなかまとまらず、途中で2名が辞退するなど混沌とした状況が続きましたが、事業が具体化した段階から、各委員の持ち味が発揮され、いずれの事業も好評を博しました。

公募委員のみの良さと難しさが交錯した委員会でしたが、最後の委員会で皆さんから「市制50周年の記念すべき事業に関わることができ、大きな感動を覚えた。市はもっと市民を活用して欲しい。特に技術や人生経験の豊富な高齢者は、地域社会に貢献したいと思っている人が多いのでは」との意見が寄せられました。

＝企画政策課＝